

平成 21 年 3 月 26 日監視円卓会議での質問に対する回答

M E P S 運転員に対する安全教育プログラムの概要

1 . 目的

本習熟度評価は、受払グループ、解体グループおよび液処理グループに所属する全員を対象として、担当業務の理解、担当する各装置類の理解、操作における定常作業および非定常作業への対応などに関する習熟度を把握することを目的とする。

2 . 評価対象

- 1) 受払グループ
- 2) 解体グループ
- 3) 液処理グループ
- 4) 搬送関係
- 5) 新入社員

対象者：処理施設の試運転時の座学および実地訓練教育（OJT）期間以降（平成 20 年 6 月 1 日以降）に入社した班員

3 . 評価時期

- 1) 各班長、班員および搬送関係の評価時期（基本的に年 1 回）
- 2) 新入社員および配属先異動後の評価（初期 OJT 教育が完了した時点）
 - 新入社員の評価
 - 配属先異動後の評価
- 3) 他班への作業応援時における着手前の評価

4 . 評価方法

評価方法は 5 段階評価とする。

- 1) 新入社員の実地訓練における評価（座学から初期 OJT 完了までの評価）
- 2) 運転期間中の評価
- 3) 特別な業務としての評価

特別な業務：

セーバーソーを用いての手解体作業

チゼルを用いての手解体作業

他のツール（電気ドリル、インパクトレンチ等）を用いての手解体作業

5 . 評価者区分

評価対象者を評価する管理者を予め決めておく。

以 上